

発表概要【午後の部】

校名	<p style="text-align: center;">ステージ発表</p> <p style="text-align: right;">テーマ(上段) 及び 内容(下段)</p>
岡山城東	<p>音楽療法 ～音楽を用いた高齢者のためのセラピー～</p> <p>音楽療法とは何なのか。近年日本でも注目されている音楽療法の内容や成り立ち、日本での現状に加えて、先進国であるアメリカの実態を調べた。高齢社会となった今、音楽を使ったセラピーはさらに活躍の場を広げていくと考えた。時代の変化とともに、お年寄りにとって癒やしや活力になる音楽も変化していると予測し、実際に訪問演奏を行った。この成果をもとに、私たちが考えたことを提案する。</p>
高梁城南	<p>高校生と行う備中たかはし納涼花火大会</p> <p>私たち高梁城南高校は、総合的な探究の時間を3科合同の城南モザイクプロジェクトとして2年生で行っている。今回は、高梁青年会議所の協力を得て「高校生と行う備中たかはし納涼花火大会」で行ったステージの企画・運営やステージを飾る横断幕の作成などの取り組みを発表するものである。</p>
鳥城	<p>多目的トイレを調べてみた!!</p> <p>全国には車いす利用者が約二百万人いると言われているが、普段見かけることが少ないことに疑問を感じ、車いす利用者が外出を控えている原因について調査した。車いす利用者の方にお話を伺うと、外出の際に最も知りたい情報は、障害者用トイレについてであることを知った。そこで、学校周辺の公共施設を中心に多目的トイレの手すりの配置や便座の形状などについて調査し、多くの方が利用できるよう、既存のサイトを通じて発信した。</p>

校名	ポスターセッション(前半) テーマ(上段) 及び 内容(下段)	
岡山芳泉 A	まだ紙使ってるの？遅えーよ時代。	私の研究内容は、学校で使用されている教科書や参考書等を、デジタル端末(iPad、Chromebook 等)にデータとして組み込むことで、紙媒体の教科書をなくそう!というものである。この研究が進み、実際にそのような取組が行われることになれば、SDGs の 15 番の目標である「陸の豊かさを守ろう」に貢献できる。また、登校する学生たちの荷物を減らし、ストレスを軽減することにもつながるだろう。
岡山城東	野生生物の生息する環境を守るために何ができるか	現在、地球のあらゆる場所で、地球温暖化や生息地の減少などの問題によって、野生生物が生息している環境が破壊されている。これらの問題を解決するためには様々な手法があるが、私たちは、RSPO認証マークやFSC認証マークなどで知られる、サステイナブルな方法で生産された商品やマークを調べるという視点で、私たち高校生にも取組可能なことがないかを考えた。
西大寺 A	職員室に入りやすくするためには、どうすれば良いのか。	探究活動を共にしているメンバー内から出た「職員室に入りにくい」という意見から、校内で同じ思いを持つ生徒が多いのではないかと考えた。本校生徒にアンケートをとり、その結果を基に先生にインタビューを行った。これらの調査から、生徒と先生の関係性が、生徒が職員室に入りにくいことの主な原因だと分かった。解決策としては、職員室前に勉強スペースや名札を設置することなどを考えている。
岡山東商業	2年1組が出店する SDGs・Diversity Conscious Shop “満点堂” は持続可能な店舗となりうるか	岡山東商業高校の一大イベントである東商デパートで、地産・地消の商品、フェアトレード商品、ネイチャーポジティブな食材など SDGs、フード・ダイバーシティを意識した店を天満屋岡山本店の協力を得て出店した。商品の性質上、単価が高くなるというネガティブ要因を克服し、東商デパートのイメージアップに貢献できる持続可能な店舗になりうるかどうかを、売り上げデータやアンケートをもとに検証する。
倉敷天城 A	油によるβ-カロテンの抽出量の違い	β-カロテンとはニンジンなどに多く含まれる栄養素であり、油と一緒に摂取すると吸収率が良くなると言われている。β-カロテンを効率よく摂取するにはどのような油を使うと良いのか調べるために研究を行った。実際に体内に吸収された栄養素の量を調べるのは難しいため、さまざまな油でβ-カロテンの抽出量を調べた。実験の結果、油によって抽出量は異なり、特にゴマ油や米油に多く抽出されることがわかった。

倉敷古城池A	<p>～水島・藤戸をめぐる～ 水島コンビナートクルーズ&バスツアー企画で地域の活性化を</p> <p>倉敷市水島地域唯一の高校である倉敷古城池高校では、藤戸地域での源平合戦の歴史遺構巡りや、昭和レトロな雰囲気が素敵な水島商店街の街歩き、製品出荷額が県全体の約4割を占める水島コンビナートの産業観光などをツアー企画に盛り込み、地域活性化を目指した観光資源の開発に取り組んでいる。地域の方々から水島地域の魅力や今後の課題などを学び、ツアー企画を年間2回実施した成果を発表する。</p>
倉敷鷺羽A	<p>「こ・じ・ま・さ・ん・が・む・す・ん・だ！」プロジェクト</p> <p>「現代版倉敷労研饅頭を作ろう」というテーマで始まったプロジェクト。現代の労働者が抱える食課題に注目するだけでなく、日本の食課題にも視点を広げ、倉敷鷺羽高校食物コースが「現代版倉敷労研饅頭」を考え、商品化した。</p>
津山工業	<p>地域と連携・協働した「おもいやりのものづくり」</p> <p>私たちは、全国的に問題となっている放置竹林に注目し、その課題解決に向けた活動を行っている。私たちの強みである「ものづくり」を生かし、伐採した竹資源の有効活用に取り組む。地域と連携・協働した環境改善の活動を通して、「おもいやりのものづくり」で地域の課題解決を目指した。また今年度は地域の力の掘り起こしを行いたい。</p>
玉野A	<p>岡山県玉野市の交通網の変遷と課題—交通弱者の視点から考える地域公共サービスの在り方—</p> <p>本発表は、鉄道やバスの利用に困る人や、病院への交通手段に困る高齢者の視点に立ち、岡山県玉野市の地域公共交通サービスの在り方について検討した内容をまとめたものである。かつては玉野市営電気鉄道が運行されていたが、赤字を抱え廃止された。現在運行されている玉野市コミュニティバスは、運行ルートによって便数がまちまちであり、ニーズにあわせた運行に課題を抱えている。</p>
笠岡商業	<p>北木島 DAIDAIGO!GO! 「きたり」</p> <p>笠岡諸島の北木島は、牡蠣にレモンではなく、橙の果汁をかけて食べる習慣がある。このことから、橙で何か島おこしはできないかと考え、学校に着目した産学共同モデルを考案。高校生がノウハウを体験することで、自動的に後継者に繋げる仕組みを考えた。そして、橙を使ったクラフトコーラの商品開発を実施。橙農園と合わせた、生産から加工、販売までの6次産業化で「北木島の橙」と親しまれることを目指したビジネスプラン。</p>

高梁 A	<p>かかりつけ医を持つ若い人を増やそう！</p> <p>地元である高梁市の医療課題に迫っていく中で、国がかかりつけ医を推奨しているのに対して若い人がかかりつけ医を持つ割合が少ないことを知った。そこでアンケートで現状を把握し、医師へのインタビューを通してかかりつけ医を持つメリットなどを調査した。それらの調査結果から理解を深めていき、かかりつけ医というものに意識を向けてもらうための手助けになるようにパンフレットを作成した。</p>
新見	<p>高齢者も豊かで幸せな社会</p> <p>本校では、仰高タイムという総合的な探究の時間を設けている。私たちが取り組んでいるテーマは、「高齢者も豊かで幸せな社会」である。新見市には高齢化が進んでいる地域が多くあり、今後身寄りがなく助けを求めにくい高齢者の増加も考えられる。私たちは、そうした高齢者たちも豊かで幸せな暮らしのできる社会を実現するために、SDGsの3番目の目標「すべての人に健康と福祉を」に基づき、地域のよりよい福祉のあり方を考えていく。</p>
和気 閑谷 A	<p>雑誌を作って和気町を活性化しよう！</p> <p>聞き書きゼミでは、和気町の活性化を目指し、各グループに分かれ、和気の移住者、和気の職業、和気の観光、和気の歴史について調査した。調査方法として、和気町で活躍する方々にインタビューをし、様々な質問に答えてもらった。それらを記事にし、雑誌を作ることにした。</p>
勝間田 A	<p>アグリ魅力化プロジェクト ～アグリ体験プロジェクトでの挑戦～</p> <p>農業課題の解決に向け、地元のしょうおう志援協会が主体となってアグリ魅力化プロジェクトの「アグリ体験プロジェクト」に令和3年度より取り組んでいる。本校農業クラブはこのプロジェクトの圃場管理を担っている。持続可能な活動とするため、圃場に作付けする品目を検討し、栽培・管理を行っている。収穫した作物は勝央町教育委員会主催のイベントで活用すると共に、しょうおう志援協会が販売、次の種苗等の購入費に充てている。</p>
鳥城	<p>夜間中学について～不登校経験者の私たちが伝えたいこと～</p> <p>不登校児童・生徒の数は年々増加していて、本校にも中学校までに不登校を経験した生徒が多く入学してきている。そこで、不登校者や外国籍の人が学び直しをできる場として注目されている「夜間中学」などの学校外の施設について調べ、不登校者を減らすための糸口を見つけようと考えた。調査する中で感じた不登校経験の当事者だからこそ分かることや伝えたいことについて発表する。</p>
早島 中学校	<p>早島町魅力UP大作戦</p> <p>2022年、早島町のふるさと納税の額は50%以上減少しており、早島の魅力を発信することが必要である。職場体験活動を通して早島の魅力を再発見し、事業所の依頼に沿った新しい商品やサービスの企画を考案し、それを実現することで早島町の魅力を発信するプロジェクトを立ち上げた。このプロジェクトの実行日、令和6年1月20日(土)の「はやしまの日」に向けての現在までの取り組みについて発表する。</p>

校名	ポスターセッション(後半)	
	テーマ(上段) 及び 内容(下段)	
岡山 芳泉 B	<p>毛が青い海に変える？</p> <p>海洋汚染が進んでいる今の時代、海を最も汚染している油を除去するにはどうすれば良いか。実は誰もが持っているアレで解決できる。そう、それは毛である。毛が油を除去できるって聞いても信じられないかもしれない。私は今回、そんな毛の凄さについてみんなに知ってもらいたい。</p>	
西大 寺 B	<p>「多様性」の暴走</p> <p>今日では、我々は様々な場で「多様性」という言葉を耳にする。しかし、「多様性」という言葉を盾に暴れ回る者や、それを追求しすぎるあまり皆が暮らしにくい社会になってしまうなど、「多様性」を誤解している人も多くいる。私達は特に LGBTQ+について深く掘り下げて探究し、この発表を通して、「多様性」の本当の在り方について考えてもらいたい。</p>	
興 陽	<p>早く元気になってね～小児用点滴パジャマの製作～</p> <p>家庭クラブでは、「さらし」を使って、闘病中の子どもたちのために、点滴をしたままでも着替えやすいパジャマを作り、医療機関に届けている。着替えの際に、子ども自身と保護者、看護師の方の負担が大きいことがわかり、その負担を少しでも軽減できるようなデザインを考えた。現在もこの取組は継続中で、既に届けた医療機関では子どもたちが着用し、関係者に喜ばれている。</p>	
倉敷 天城 B	<p>倉敷川の水質を改善する方法を提案する</p> <p>倉敷川の水質を改善し景観を向上させるため研究を行った。河川の合流地点などで水質調査を行い、水質が悪化している地点・原因・進行度を考察したところ、下流に行くほど水質が悪化しているとわかり、生活排水や水田の肥料の影響が考えられた。また、下流域に限定した水質調査では、汚染の進行した地点を特定することができた。調査結果より、下流域に河川由来の浄化機能を取り戻す近自然工法を用いることなどを提案する。</p>	
倉敷 古城 池 B	<p>健康に大きく関わるフレイル</p> <p>現在、日本は超高齢化社会が進行して、倉敷市も令和4年で人口の約 26.5%が65 歳以上となっており、今後、医療費や介護費の増加、社会保障制度の持続可能性の確保などの課題があげられる。このような課題を解決するために、近年注目されているフレイル予防に着目して、運動と社会参加の面からフレイル予防を考える。社会参加の観点を踏まえてフレイルを地域で予防するための公民館講座を企画した。</p>	

倉敷 鷺羽 B	<p>「鷺羽山ハイランド活性化」プロジェクト</p> <p>鷺羽山ハイランドを運営する株式会社鷺羽観光開発から依頼を受け、始まったプロジェクト。園内視察から課題を発見し、テーマを決めて解決策を考案していった。「高低差問題」や「園内の雰囲気改善」など、全13テーマをスライドにまとめ、関係者への提案を行う発表会を行った。</p>
倉敷 工業	<p>ペットボトルのリサイクル</p> <p>マイクロプラスチックの問題をよく耳にするようになり、プラスチックの再利用が再び注目されるなか、2007年度にスーパーエンバイロメントハイスクール研究開発事業で取り組んだペットボトルのリサイクル技術をもとに、SDGs の観点から2019年度より株式会社フロコートと協力し、樹脂成型用の金型の改良および配合比率の再検討を行い、廃棄ペットボトルを原料とした植木鉢やプランターなどの製作に取り組んだ。</p>
津山	<p>子ども食堂の今と可能性</p> <p>私達は「子ども食堂が地域にどのような効果をもたらし、社会貢献しているのか」をテーマに研究した。今回、津山市の子ども食堂にインタビュー、見学をさせていただき、実際に自分たちの目で見て聞いて、非常に貴重な体験となった。また、研究の中で地域の人々と会話をすることで私達未来世代が地域とつながり、行動していく重要性を知った。未来の社会にとっても、私達にとっても学び多き研究になったと思う。</p>
玉野 B	<p>シティプロモーションによる地域活性化の現状と課題—岡山県玉野市を事例として—</p> <p>岡山県玉野市の地域活性化について検討するにあたり、シティプロモーションの観点から、本校生徒を対象にアンケート調査を実施した。玉野市の情報発信の認知度は低く、玉野市の活性化や地域 PR に対してもさまざまな意見を持っていることがわかった。そこで、本発表では、シティプロモーションに、地元高校生が参画するなど、高校生の視点から玉野市の魅力をもっと多くの人に伝えるための効果的な方策について提案する。</p>
笠岡	<p>笠岡 PR 革命！ ～効果的な SNS 活用方法～</p> <p>現在、笠岡市は観光者数や人口が減少傾向にあるため、様々な施策を行っている。たとえば、Instagram の戦略的運用が挙げられる。私たちは笠岡市をよりよい方法で PR することで現状を打開できると考えたため、PR 方法を探究することにした。そこでターゲットとする10～70代に最適な PR 方法を探究するため、街頭調査を行い、その結果やインターネット上での資料を基に広告のスキップまでの 5 秒の CM を作成した。</p>

<p>総社</p>	<p>来て来て！私達の町総社へ！総社で so happy!! 鬼ノ城・古墳の主になろう。 本発表は、総社市のふるさと納税の返礼品の提案を、総社市役所の協力を得て昨年度1年間の探究活動として取り組んだものである。総社地域の歴史遺産である作山古墳や鬼ノ城などを素材として、歴史に興味・関心がある人を第一のターゲットに体験型の返礼品を作成している。作成にあたって役所・納税者・事業者の3者にメリットのあるものを追求した結果として、地域の旅行業者からの問い合わせがあるなど高評価を得ている。</p>
<p>高梁B</p>	<p>授業の極意 私たちは将来教員になることを目指しており、子供たちがより楽しくわかりやすく学習ができるような授業のあり方について考えようと思った。高梁市内の小・中学生、先生方へのアンケート・インタビュー、地域の学習ボランティア活動への参加、宇治小・宇治高校合同の職員研修会にも参加させていただき、それらの体験から考察し、得た授業のポイントを活かして実際に小学校での授業を計画した。</p>
<p>林野</p>	<p>廃校を活用した地域活性化 少子高齢化と過疎の影響で美作地域に増えつつある廃校施設を地域の住民によっていかに有効活用できるかについて探究してきた。その中で、旧東粟倉小学校でニュースポーツのイベントを開催し、廃校活用のモデルケースをつくらうと考えた。東粟倉支所や地域の方々や数多くの議論を重ねることで、様々な世代を巻き込んだイベントを開催することができた。発表ではイベント開催までの取り組みやその後の地域への提案について紹介する。</p>
<p>和気閑谷B</p>	<p>生徒主体で校則を変えるには？ 私たちの目的はこの探究を通して、和気閑谷高等学校の校則を見直し、また生徒主体の学校運営に貢献することである。近年、公立高校でも校則を見直す流れが出てきている。学校内外の様々な意見を踏まえ、実際に校則の改善案を提案する。</p>
<p>勝間田B</p>	<p>誰もが一緒に楽しめるスポーツを！ ユニバーサルスポーツを取り上げ様々な年代との交流活動を通じて親睦を深めたり、楽しさを更に共有できる新ルールの提案や用具の検討などを考える。また、新しいスポーツの提案などにも取り組んでいきたい。</p>